

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな差があるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 533

2020年1月

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 祝 2020年 2
- 睦月 正月の節供 3
- ちの山の向こうに ⑨ 4
- 女性の輝きを 7
- 「日本の食力」など 8
- び便利かな 11
- 山仕事(12月、大平・島田) 15
- ハッ場ダムは役立ったか 17
- みちのく独り旅 22
- け・い・じ・ぼん 26

地球を
こわさないで。
——生きもの一同



この見本は心とくち利に

「読んでみようか」という方は、

2020年3月までの 250円
7ヶ月×250円 円を
郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 掛い込んで下さい。

12月27日 現在の
会員数 247名

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト : 泉ゆきまさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、干支

山仕事(12月、大平・島田)

12月13日(金)、くもり。

伊藤(康)、原田、山崎さんと4人。正士、久米さんに迎えられる。深澤明男・富士代さんの豊田農園へ。今回もミカンエどっさりいただく。

一番昼が短い時とあって、買物を終えるのも夕方。明後日の間伐に備え、裏の杉林を見に行く。敷地を癒れるよう、石を並べる。

(夕食) 刺し身(マグロ、イカ)、久米さん手製の生芋こんにゃくとレンコンのみんぞら、ブリなごのマグロ大根、佐藤貞敏さんからいただいた宇都宮・正嗣(まさし)の餃子、ブロッコリのサラダ、正士さんの手打ちそば、久米さんのだしと茗荷汁。このほか、横須賀和江さん(仙台市)から江戸のつまみ、伊藤和代さん(下関市)からパンをいただいた。

すげ

14日(土)、晴。原江久米さんも参加して7名で島田市の小澤零技さん方へ。イヌマキ、ツバキ、カエデ、エノキ、ヒラカンサなど整理。その他、うら山の台風による倒れを片付ける。

昼食は、黒米ごはん、芋煮汁、以下、材料だけ記すと、竹の子(自家)、こんにゃく、ごぼうずいき、きくらげ大根、切りこんにゃくに白菜漬かけ、絵に描いたような健康食。(写真右下)

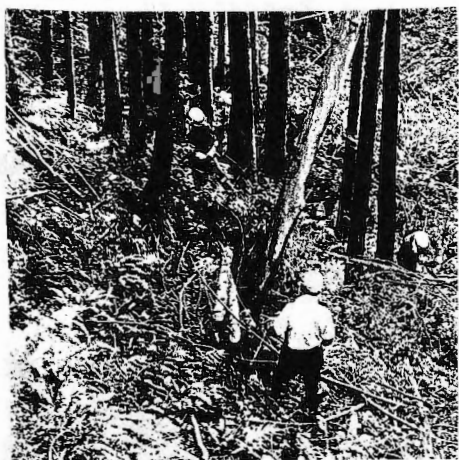
作業と終え、お酒(下)と各自に竹の子のびん詰めをいただき、近くの「伊太和里の湯」で入浴、正士さんちに帰る。



カメラ：正士さん

ふと足先に突いた、康江、久米、原田さんの手で調えられた夕食は、鍋、イオンジン、カブの麩和之に昼間の料理の残り。久しぶりに若林さんしかのり、食後は英ちゃんのケーナで“猫の手雑唱団”

15日(日)、うす晴れ。竹中さんと「ホリデー・フォレスト」7名しかのり、裏山でスギの間伐。猫の手組は2組に分かれて作業していたが、途中、英ちゃんが



チェーンソーで足を切ったときいて駆けつける。右膝が4cmほど切れていた。幸い骨膜までは至らず、正士さんと病院へ行き、4針縫ったという。だが、毎年参加している「若潮マラソン」(来年は1月26日)出走は難しそうだ。



昼食は、シチュー、サラダにピザトースト。

久しぶりの間伐だが、思ったほどは進まなかった。1~2月、続きをやることになりそうだ。

夕食は、豚ばら甘辛たれ焼きマッシュポテト添え、里芋とゲン煮、里芋の夜かつぎ(もつとも、お母さんがきれいに洗ってくれたので、裸同然)、餃子(佐藤さんの宇都宮と冷凍庫にあった浜松餃子のたべくらべ。どちらがうまかったか? それはおまかせ)、イカ人参とチーズサラダ。この夜も猫の手雑唱団。

16日(月)、晴。おまさん茶園跡の草刈り。昼食は、カレー。

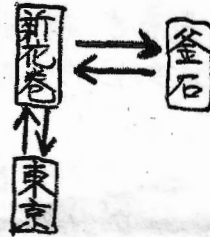
前夜、英ちゃんが「銘木館」でみた「長蔵杉」の立っていた春野町の「京丸山」に行ってみたいという言葉に、竹中さんと若林さんが反応した。林道の奥に藤原姓の旧家(無人があるが、若林さんは藤原家の縁者で林道ゲートの鍵を持つ人を知っているそう)。かなりのヤブ山らしいが、来年、行ってみたい。2019年は、これまで。



遠真が線で表示されていた。一週間は水がみず、今蔵庫などタメになったという。焼きそばのめ人が赤茶色をしているのは、戦後の食糧難時代、生かんと少しも日もちさせるために二度加熱したとる。根水(おんすい)が変色したのだとさうだ。

石巻で仙台行き快速にのる。じきに暗くなった。途中、筑波さんのいる多賀城は通過。横須賀さんの青葉区はどの辺だろうか。さし、平原総夫さんは。

おなかが一杯で、仙台発「やまびこ」で何も飲食せず帰宅。



最終日、12月2日(月)。昨日までと一転雨はようで暖い。この日は、新花巻から釜石まで往復するだけ。

外高線が強風で遅れ、総武各停は混雑で遅れ、京浜東北も西川口で入場規制をする混雑とあって秋葉原のホームも大混雑。東京よりの先頭まで行ってようやくのりこむ。東京駅に着くと大雨が音を立てたが、じきに小降りとなった。

初日と同じ8:48発「やまびこ」自由席はガラあき。途中、何度か北上川を渡り、新花巻11:55着。構内には売店とそば屋があるきり。30分待つ間、奥の方に展示してある「花巻東高校」野球部出身の、大谷、菊地選手などの写真を眺める。

弁当「銀河のほまれ」1150円と黒ラベルを買って、釜石行き快速「はまゆり」(デビルカー)にのる。3輛編成のうち1輛は指定席になっている。けここのっていた。ずと雨もようで、遠くの山々は煙って見えない。柳田國男ゆかりの「東野」も車内からは格別のことはない。途中、何度か25% (1km/siv. 1000m行って25m上がる)以上の急な勾配がある。

釜石に着き、「活性化酒雪子」(濁酒)とつまみを買ひ、新花巻へトンボ帰り。新花巻近く、「土沢」駅に停まると、「葛鐵五郎記念館 徒歩8分」の看板が。

新花巻で「賢治そば」650円をたべたら満腹で、「はやぶさ」110号(全席指定)にのり、18:50上野着。

はい、おしまい。



◆ 大儀引きとサイの神 ◆

・1月14~16日。只今、久米、伊藤(康)、山崎さんとぼく。都合つけば泉ゆきとさんも。その時は、馬刺しをかたまりでご利用下さい。板橋さん。

◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

① 1月6~8日 ② 2月12~14 ③ 3月2~4日 ④ 4月23~26日

静岡・磐田市 鈴木正士さん方ぞ、
交通費自弁、会費3千円(4月は5千円)

山中圭子氏